

令和2年度第1回地域学校協働活動推進委員会 協議テーマ

【所管課：生涯学習課】

協議タイトル
地域学校協働活動におけるICT（リモート等）の可能性について
背景・趣旨等
<p>「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（令和2年5月1日付新型コロナウイルス感染症対策専門家会議提言）においては、今後とも、一定期間はこの新型コロナウイルスとともに社会で生きていかなければならないことが見込まれるとされており、感染拡大を予防する新しい生活様式の普及が提言されている。<u>地域学校協働活動は、これまで子どもたち、そして高齢の方を含む幅広い地域住民の方々が一堂に会する場合が多く想定されてきたが、地域と学校が力を合わせて子どもたちの成長を支える重要な取組であり、多くの制約がなされる状況下においても、様々な工夫を凝らして活動を再開していく必要がある。</u></p> <p>また、今後GIGAスクール構想も推進されていく中で、これまでの実践（地域学校協働活動）とICT（リモート等）とのベストミックスを図り、アフターコロナに残る活動を模索（想像）していくことが求められる。</p> <p>そこで、第1回の推進委員会では地域学校協働活動におけるICT（リモート等）の可能性について、必要な視点や課題等について、実施箇所の関係者（地域コーディネーター、放課後児童支援員）、行政関係者、家庭教育関係者、学校関係者のそれぞれの視点でご意見いただきたい。</p>
関連する国の考え方
<p>■地域学校協働活動の取組の工夫に関する考え方・取扱いについて</p> <p>○地域学校協働活動のリモート等での実施における考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動は、地域と学校が相互にパートナーとして子どもたちを支え育てる様々な活動の全般を指し示すものであり、それぞれの活動の目的や趣旨に合致するものであれば、その活動方法の全てが必ずしも直接対面で行うものに限定されるものではない。 <p>事例①：地域学校協働本部がコーディネートし、子どもたちがそれぞれの自宅からリモートで参加する形でコーラスの練習を行う活動</p> <p>事例②：地域未来塾の一環として、オンラインで学習支援を行う活動</p> <p>事例③：放課後子ども教室の一環として、運動動画を作成し、子どもたちに配信する活動</p> <p>事例④：地域学校協働活動推進員の企画のもと、地域学校協働活動に参画する大人を増やすため、研修動画を作成する活動。</p>

■協議用補助資料

【活用の目的】

インプット用（学習、見学等）、アウトプット用（発表、PR等）、複合（交流、情報交換等）

【活用の場面】

授業中、長期休業中、放課後など

【活動内容】

学習活動、教員の働き方改革に資する活動、体験活動

学校支援活動（学習、環境整備、見守り等）

地域課題解決学習、地域人材育成、放課後子ども教室（体験活動プログラム）等

【リモート等と繋がる先】

社会教育施設、社会教育団体、企業等

【危惧される点、課題】

- ・ 学校外での使用におけるネット環境、
- ・ 学校教育関係課とその他の課（縦割り）による機器管理（貸し出し）
→ 学校管理課における活動とそれ以外の活動では端末の使用制限がある
- ・ 支援員の高齢化によって機器操作が不安
- ・ ICT 支援員、GIGA スクールサポーター等の人材確保